

2色発光が可能、視認性向上

Made in 新潟 新技術

カンエツ（新潟市北区濱川1002-2 関谷薫代表取締役）は、ソーラー電池と乾電池の自動切り替え制御機能を備えた「ハイブリッド式LED工事灯」の販路拡大に乗り出

「Made in

新潟 新技術」に登録

され、片面4灯とし1つのLEDからオレンジとブルーの2色の発光を可能としたことで

視認性が良好になるほか、シリコンパッキンによる防水効果が上がり、透視防水シートの結露排出機能を追加し

たことによつて水に対する高い耐久性を併せ持つことが可能となつた。

従来は、乾電池式工事保安灯（連続使用・1日12時間／30日）またはソーラー式工事保安灯（無日照・7日-10日連続点灯90時間前後）を使用し、同期モード時の点滅切り替わり時に無点灯（暗い）時

間が発生したり、スイ

ッチ部から水抜ボーリ

ング工が入り基盤が破

損する事例が多く見ら

ハイブリッドLED工事灯

れたという。

適用可能な範囲は屋外の工事現場全般とし、日照時間の短い季節や場所における道路

交通規制のある工事現場では特に高い効果を発揮する。一方、日照および電波時計の受信が著しく悪い現場には適用できな

カンエツ

結果、経済性が向上する。加えて、工事保安灯が破損した場合、破損部品のみの交換が可能となつたことで破棄物が軽減され省資源化につながるという。公共工事では、土木工事において建築工事等の工事保安灯（バリケード、および建物工事等の工事保安灯（バリケード、カラーコーン）に適用でき、視認性の向上により現場事故防止などに寄与する。

期待される効果としては、工事保安県内が県発注工事1件および新潟市6件、国

による防水効果が上がり、透視防水シートの結露排出機能を追加し

損する事例が多く見ら

れることによって水に対する高い耐久性を併せ持つことが可能となつた。

従来は、乾電池式工事保安灯（連続使用・1日12時間／30日）またはソーラー式工事保安灯（無日照・7日-10日連続点灯90時間前後）を使用し、同期モード時の点滅切り替わり時に無点灯（暗い）時

間が発生したり、スイ

ッチ部から水抜ボーリ

ング工が入り基盤が破

損する事例が多く見ら

れることによって水に対する高い耐久性を併せ持つことが可能となつた。